

おかだ耕一

後援会会報
No.38
2008.4.15

http://www.ko1.org/ E-mail:okada@ko1.org

発行 / おかだ耕一後援会事務局 〒471-0809 豊田市宝来町4-758-141 TEL/090-1752-7529 (番号通知のみ受信)



数々の提案施策が実現

桜前線も北上し、心地よい季節になりました。日ごろは議員活動、後援会活動に対し、格別なるご理解、ご支援を賜りありがとうございます。

さて、豊田市議会3月定例会は、2月22日から3月21日までの会期で開催され、平成20年度当初予算はじめ、重要議案の審議がされ、上程議案のすべてが可決されました。

20年度は、私が今まで提案してきた事業の多くが実現します。今後も皆様からご指導をいただきながら、いい街づくりの一助となれるよう、精一杯活動してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

豊田市議会議員 岡田耕一

平成20年度各種事業予算《おかだ耕一議員が提案してきたもの》

新たな病児保育室開設

豊田厚生病院で病児保育室が4月10日から開設されています。

20年度からは、すすくの森、丸山保育園の3カ所での開設となり、予算額は、病児・病後児保育費として、3,385万円を計上。

病児保育の問題は14年12月議会で取り上げて以来、数回にわたり、開設に向けた質問を行いました。豊田厚生病院での開設については、15年6月議会で提案したものです。



豊田厚生病院 病児保育室びよこの保育士さん

学校トイレの再整備

「臭い、汚い、暗い」と言われる学校トイレの改修事業が始まります。

20年度は10小学校、3中学校で設計、東山小学校はじめ11小学校、4中学校で工事に入ります。予算額は4億9,340万円。

この問題は、16年12月議会をはじめ、一般質問、決算審査等で数回にわたり、改修に向けた質問を行い、老朽化した学校トイレから順次、改修を進めることになりました。



子どもたちが考えた明るいトイレ(戸田市立笹目小学校)

教室の暑さ対策整備

夏場の教室の暑さ解消対策の整備事業が始まります。

20年度は3小学校、2中学校で暑さ対策整備の設計工事、4小学校、2中学校で屋上断熱化工事に入ります。予算額は2億4,860万円。

この問題は、教室への扇風機設置の試行やクーラー設置も検討されましたが、19年9月議会で暑さ対策の質問、提言を行ったことにより、速やかに予算化されました。



見事な壁面緑化(杉並区立和田小)

皆様にお詫びとご報告

製紙会社が古紙配合率を偽装していた問題を受け、多くの自治体や企業では、名刺や広報誌に古紙配合率100%を示す「R100」や70%を示す「R70」などと印刷していたため、これらが正しいのか、確認など対応に追われています。

本紙、おかだ耕一後援会会報(議会報告)は定例会閉会ごとに発行し、その際、古紙配合率100%の再生紙使用を指示し、それを示す「R100」と印刷・発行してきました。

そこで、念のため、印刷会社に問題はないか、確認しました。すると、「製紙会社が虚偽の記載をしていたら真偽はわからない。今の流れなら古紙配合率100%でない可能性が高い」ということでした。真相は不明ですが本紙も古紙配合率100%でない可能性が高いと思われます。

支援者の皆様、市民の皆様には、結果責任として、お詫び申し上げ、この号より、「R100」の記載をしないことをご報告いたします。

とよた市民の会 無料法律相談のご案内

開催日/5月10日(土)・6月14日(土)
7月12日(土)

時間/いずれも午後1時30分~3時
場所/豊田産業文化センター

ご予約先

小林おさむ 0565-80-5323

弁護士に無料で相談できます。本年より、完全予約制といたします。ご了承下さい。ご希望の方は前日までにご連絡ください。

1、外国人児童生徒へのさらなる教育支援を

(答弁は小野田教育委員会専門監)

日本語の教育支援が必要な日本国籍を持った帰国者も含め、外国人児童生徒への教育支援について質問する。現在、各課題の解決に向け、さまざまな努力がされている。特に本市が取り入れている「ことばの教室」や「日本語指導員の学校への常駐配置」など、先進的な取り組みを高く評価しているが、外国人児童生徒数の増加に伴い、その対応が追いつかず、まだまだ改善の余地もあると感じている。

先日、私は愛知教育大学において開催されたシンポジウムに勉強のために参加し、多くの課題を再認識した。そして、東山小学校、野見小学校、美里中学校や東保見小学校に設置されている「ことばの教室」で授業を参観し、それぞれの校長、教頭、室長先生から貴重なお話を伺った。また、日本語指導員、担当教員の皆さんからもご意見等を伺うとともに、現在指導を受けている、または受けていた4名の生徒、ならびに1名の社会人にお話を伺うこともできた。

さらに、本市と同じく外国人集住都市であり、先進都市でもある横浜市、浜松市、太田市、豊橋市、小牧市、可児市から情報をいただき、本市と各市の状況を比較した。

私は、縁あって本市に来られた外国人児童生徒の皆さんが、将来、母国と日本の架け橋となってくれることを期待している。そのためにも希望する高校や大学等へ進学することが可能になるよう、適切な教育が必要と考える。



日本語指導員が足りない!

質問 本市における日本語教育が必要な外国人児童生徒の在籍状況、日本語指導員数は別表の通り。私はこの指導員数では足りないと思っているが、市教委としての認識は。

答弁 指導員は希望する学校には必ず派遣しており、合計39名を配置しているが、外国人児童生徒の個々の能力に見合った十分な指導をするには、指導員数が不足していると認識している。

日本語教育が必要な外国人児童生徒の在籍状況と指導員数(1月10日現在)

必要な言語	日本語指導員	中学生	小学生	中学校(26校中)	小学校(76校中)
ポルトガル語	23名	66名	318名	7校	23校
スペイン語	6名	20名	54名	4校	13校
中国語	5名	12名	27名	5校	14校
タガログ語	2名	5名	18名	3校	8校
インドネシア語	2名		6名		2校
英語	1名	1名	3名	1校	2校
韓国語			2名		1校

※指導員数は常駐、巡回、適応指導員の合計

質問 本市では現在、教育委員会のホームページや日本語指導員のからの紹介で指導員を募集している。しかし、他市では現在の任用者からの紹介以外に、関係機関への照会、ハローワークを通じた求人、広報紙への掲載など、基本は公募という姿勢。本市は、他市と比較すると、人材確保が非常に消極的である。今後、より積極的に優秀な指導員を確保するための募集を考えるべきだ。今後の募集方法は。

答弁 ホームページでの広報、指導員からの紹介以外に、TIA(国際交流協会)やハローワークの方が参加される豊田市多文化共生推進連絡協議会の教育・青年部会でも情報提供をいただいている。今後、人材確保のために、「広報とよた」で募集することも含めて、募集方法を検討する。

質問 現在、本市では教科試験や日本語能力試験は実施

せず、面接で採用を決定している。しかし、子どもたちの学力向上を考えれば、中学校の教科もある程度、教えられる日本語力と日本の教育を理解している人材確保を目指すべきだ。民間の活発な産業活動のなかで、有能な指導員ほど、民間からの厚遇での求人もあり、今後益々、有能な人材確保は難しくなる。有能な人材確保のためには現在、時給1,740円+交通費という条件も指導員のレベルに応じて見直す必要もある。事実、有能な日本語指導員が民間からの引き抜きで退職された事例も伺う。子どもたちの学力向上にあわせた人材確保ならびに、そうした人材確保をするための待遇見直しの見解は。

答弁 採用は、指導員希望者との面接を実施し、本人の日本語能力や母語能力を確認し、外国人の子どもを教えようとする情熱のある人を採用している。今後は、勤務条件の改善等を含めて、外国人児童生徒の能力に応じた指導のできる優れた指導員の確保に向けて努力したい。

より充実した指導組織体制(相談体制)を

質問 各指導員の取りまとめ役として、本市では市教委学校教育課の指導主事とその重責を担っている。しかし、今後も増加が予想される外国人児童生徒を考えると十分な対応ができなくなる可能性がある。他市の状況を見ると支援ボランティアの活用や外国人児童生徒教育担当者を取りまとめる人材の登用と組織作りをしている自治体もいくつかある。また、外国人児童生徒支援センター構想も小牧市などでは持っている。指導主事の負担軽減と専門職としてのコーディネータの設置や組織の拡充計画についての見解を。

答弁 これまで、外国人児童生徒に対する組織体制を充実させてきたと考えているが、最近の児童数の増加や居住地の分散化等の課題に対しては、検討の余地があると思う。今後の拡充計画としては、「ことばの教室」の増設や、きめ細かい対応ができるようコーディネータの配置も含めて、指導員の配置の工夫と増員を検討する。

「ことばの教室」の増設計画は



1つの教室を2つに分けての授業（移転前の東保見小「ことばの教室」）

質問 現在、東保見小学校に設置されている「ことばの教室」のほかに別の地区に増設の方針が出されたが、今回の増設はどのような基準で設置するのか。

答弁 外国人児童生徒の居住地が、保見地区以外に分散する傾向が見られ、東保見小学校にある「ことばの教室」に通学できない実態がある。設置基準は、設置する「ことばの教室」の近隣に多くの外国人児童生徒が居住すること、編入する外国人児童生徒の増加が見込まれること、豊田市の地域バランスを考えて拠点となる場所であることである。

質問 保見地区の「ことばの教室」も含め、外国人児童生徒が急増している東部地区、南部地区での設置計画、複数教室の確保、指導員の確保、備品の充実等は。

答弁 現在、東保見小学校にある「ことばの教室」が手狭になったので、西保見小学校に移転し、2教室で落ち着いた環境の中で指導をする。備品は、開設時に購入した物品が多いので、耐用年数等を考慮しながら、順次更新する。「ことばの教室」の増設は、外国人児童生徒の多い地区を検討した結果、ここ数年急激に外国人児童生徒が増えている東部地区に20年度、常駐する指導員2名を確保し、設置する予定（後日、野見小学校で開設と発表）。



西保見小「ことばの教室」にて 野見小「ことばの教室」スタッフ
左から山口久恵カリナ先生、佐藤てるみ先生、中根正美室長先生

「ことばの教室」とは

日本語がほとんど理解できない児童生徒のために、平成12年度に東保見小学校に開設されたクラスで3名の日本語指導員による日本語の指導が受けられるようになっている。

ここに入るには保護者による送迎を条件としているため、他地区への設置要望が多数あった。

指導方法の決定は適切か

質問 充実した学校生活、高校進学等のためには一定の学力が必要だ。現在、外国人児童生徒の学習指導は級友と同じ教室で指導員が隣の席で寄り添う形で授業を受ける「入り込み指導」と、級友とは別の教室で指導員から個別指導を受ける「取り出し指導」がある。以前、ある中学校において、取り出しで授業を受けていた生徒と保護者から「取り出しをしないで欲しい。友達と一緒に授業を受けたい」という手紙をいただき、相談を受けた。この時は学校関係者に、適切に対応いただいた。その後、別の学校の生徒からも同様の相

談を受けた。実際はこうした児童生徒がもっているかもしれない。「取り出し指導」、「入り込み指導」の決定等は、担任の先生から直接、児童生徒に意志を確認すべきだ。



美里中での入り込み指導（右端が生徒と指導員）

答弁 通常学級での学習が可能かどうかは、外国人児童生徒担当教員や指導員及び学級担任が話し合って判断し、校長の承認を得ている。東保見小学校では、漢字の読み書きや言葉の意味の理解度を調べる文字・語彙テスト、質問に答える口頭表現力テスト、文章を読んで質問に答える読解・文法テスト、絵を見て話を作る文章表現力テストを実施して、その結果を判断材料のひとつにしている。児童生徒に適した環境や学習状況を総合的に判断して、指導時間数や取り出し指導を進めている。今後は、本人の学力向上につながるような適切な指導形態を追究するとともに、外国人児童生徒の意向も尊重して指導を進めていく。

各学校への教材費の拡充を

質問 教材費や消耗品費も含め、外国人児童生徒のための予算確保は必要である。日本語教育が必要な児童生徒数に応じて、学校配分予算の増額をすべきと考える。また、巡回指導員用の教材費が予算計上されていても、私費から教材等を購入している指導員もいる。今後、しっかりした教材購入のルール化および予算拡充も必要だと思うが、その考えはないか。

答弁 巡回指導員や「ことばの教室」の教材費は、学校教育課が計上している。費用は要望があれば、拡充に向けて検討していく。学校配分予算は、外国人児童生徒が多い東保見小学校は、14年度より増額されている。他の学校も20年度より、外国人児童生徒が10人以上在籍し、日本語指導担当教員が配置されている学校には、外国人児童生徒数に応じて学校配分予算の増額を考える。



野見小での取り出し指導

課外授業の開設を

質問 子どもたちの学力向上、特に高校進学等を考えると学校以外の場所での教育支援も必要だと思う。地域、NPOへの支援も含め、外国人児童生徒のための課外授業開設支援の考えはないか。

答弁 課外授業は、西保見小学校の低学年と東保見小学校の3年生以上で、外国人児童の希望者を対象に、平常日に実施することがある。課外授業のあり方は、放課後の学習支援を行っているNPO法人や関係機関と話し合いを進めながら研究していきたい。

今後のおかだ耕一後援会会報(議会報告)について

19年度の議会課題検討特別委員会において、さまざまな課題の議論がされ、その中で政務調査費のあり方についても協議されました。

年額、38万円使わせていただいている政務調査費については、額の変更はありませんが、使途基準を見直し、現行では認められていなかった、広報・広聴活動にも使えるように方向付けられました。この使途基準についても議会での議決案件になっていますので確定ではありませんが、今後、会派活動としての議会報告に対する政務調査費の活用が認められる可能性が大きくなりました。

本紙は今まで、後援会会報(1、4ページ)と議会報告(2、3ページ)をセットにして発行してまいりましたが、可能であれば、今後、分離発行も検討します。

その際の、「とよた市民の会だより」(仮称)としての発行には、政務調査費の一部を活用させていただくことを検討しますが、その場合は後援会活動等の記載はできません。

ですから、「おかだ耕一後援会会報」と分けて発行することもあります。

ただし、あくまで議会での議決が前提であり、現段階では流動的です。ご承知おきください。

バス旅行の思い出



バス旅行ご参加ありがとうございました

おさむ会のご協賛をいただき、第1回後援会親睦バス旅行を企画しましたところ約120名のご参加をいただき、バス3台で楽しく旅ができましたことに、あらためて感謝申し上げます。

2日目のコースも天候の関係で、善光寺に変更させていただきましたが、皆さんに喜んでいただき、ほっとしております。来年以降も継続して計画する予定ですので、ぜひ多くの皆様のご参加をお願いいたします。

また、私も前任の中田重信会長の後を引き継ぎ、おかだ議員にもっと仕事をしてもらうために後援会役員とともに、頑張っております。今後とも後援会活動に対し、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

おかだ耕一後援会 会長 森田 秋男



善光寺にて 3号車



草津温泉 ホテル桜井にて 2号車



草津温泉 ホテル桜井にて 1号車

おかだ耕一後援会収支報告 ※平成19年1月1日～12月31日までの収支報告です 平成20年3月26日県選挙管理委員会報告済

収入の部		支出の部	
内 訳	金額	内 訳	金額
18年からの繰越額	252,642	備品・消耗品費	44,249
寄付		機関紙の印刷費	509,217
個人(46名)	433,000	機関紙の郵送費	650,894
岡田耕一	1,300,000	封筒印刷費	126,000
預金利子	284	事務所費	400,420
		光熱水費	39,559
		その他	82,740
収入合計	1,985,926	支出合計	1,853,079
		20年への繰越額	132,847

多くの皆様からのご寄付ありがとうございました。

おかだ耕一を支えるカンパは下記へお願いいたします

三菱東京UFJ銀行 豊田支店(普通) 1113815 おかだ耕一後援会
郵便振替 口座番号 00820-9-205061 おかだ耕一後援会

カンパいただいた方は通帳にはお名前しか表示されません。お礼を申し上げたいため、ご一報下さるようお願い致します。
※政治資金規正法により、おかだ耕一後援会は、企業・労働組合等の団体からの寄付は受けられません。

TEL/090-1752-7529

(番号通知のみ受信)

FAX/88-9194

(こーいち)

<http://www.ko1.org/>

E-mail: okada@ko1.org

市政に関するお問い合わせは、
市役所 総務課 選挙管理課
お気軽にお声かけください。